

# Green

日南町森林組合広報誌

2026.7月号

vol.167

# Community

グリーン・コミュニティー



第63回通常総代会開催報告	P2~
特集記事	P5~
活動報告	P8~
時評・考察	P10
日南町の林業を支える人 ほか	P11
お知らせ	P12

# 第63回通常総代会開催報告

6月12日(金)、日南町総合文化センターにおいて、日南町長の中村英明様、日南町議会議長の山本芳昭様、日野振興センター日野振興局長の木村公亮様、鳥取県森林組合連合会代表理事会長の川上富夫様、森林整備センター鳥取水源林整備事務所長の小林由樹様を来賓に迎え、第63回通常総代会を開催しました。

議長には、大宮地区の河村達也氏が選任され、総代201名中、出席者72名、委任状提出者11名、書面議決者63名で、全議案及び付帯決議が原案どおり承認可決されました。

当期の新設住宅着工数は、対前年度比12.9%減の約71.1万戸となっており、前年度の増加から再び減少に転じ、住宅需要の冷え込みは顕著でした。こうした状況下での第63期事業年度ではありましたが、日南町木材生産事業協同組合との連携による安定した木材生産体制と木材集積場の効率的な稼働により、堅調な事業運営を実施することができました。

引き続き、森林資源の適正な管理と木材産業の競争力の強化に取り組んでまいりますので、今後とも、組合員の皆さまの一層のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 《提出議案》

議案番号	内 容
第1号議案	令和7年度 事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表、附属明細書の承認について
第2号議案	令和8年度 事業計画設定について
第3号議案	役員報酬額の決定について
第4号議案	一組合員に対する貸付金限度額の決定について
第5号議案	借入金の最高限度額について
第6号議案	余裕金の預け入れ先の決定について
付帯決議	決議事項中、権利・義務に関しない軽微な事項の修正並びに違算・誤字の訂正及び法令その他行政庁の処分、又はこれに基づく指示による場合は必要な字句の修正をなす事を理事会に一任する。

## 《令和7年度事業報告》

### 指導部門

- 情報誌の発行（年4回）、ホームページ等による情報提供
- J-クレジットの販売
- 組合員の異動手続き等の案内
- 作業地の現場進捗状況等の確認のためのドローン操作講習の受講

### 販売部門

- 立木の買取と皆伐の推進
- 近隣の木材市場市況とのバランスを図り、安定的な集荷と販売網の拡充
- 白谷工房の商品の取扱い開始

### 森林整備部門

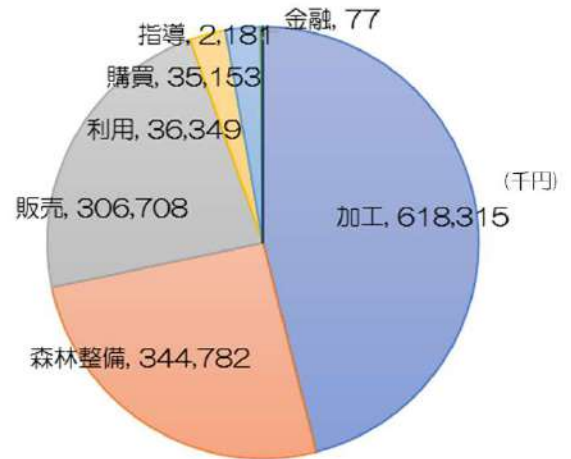
- 森林経営計画を基に、航空レーザーなどのICT技術を活用した施業の集約化
- リース支援事業による高性能林業機械の導入
- 各種造林補助事業による新植・保育・間伐等の施業の推進
- 林業専用道、森林作業道の道路網の開設整備の推進
- 一般購買品、苗木等の販売

令和7年度貸借対照表

(千円)

科 目		金 額
資 産 の 部	流 動 資 産 合 計 ①	890,335
	有 形 固 定 資 産 合 計 ②	424,651
	無 形 固 定 資 産 合 計 ③	1,279
	外 部 出 資 合 計 ④	68,630
	そ の 他 の 固 定 資 産 計 ⑤	51,415
	固 定 資 産 合 計 ⑥=②+③+④+⑤	545,975
資 産 合 計 ⑦=①+⑥		1,436,311
負 債 の 部	流 動 負 債 合 計 ⑧	538,297
	固 定 負 債 合 計 ⑨	293,276
負 債 合 計 ⑩=⑧+⑨		831,573
純 資 産 の 部	組 合 員 資 本 合 計 ⑪	604,738
	純 資 産 合 計 ⑫=⑪	604,738
負 債 ・ 純 資 産 合 計 ⑬=⑩+⑫		1,436,311

令和7年度 事業別実績  
(13億4,356万円)



令和7年度損益計算書

(千円)

科 目		金 額
事 業 総 利 益	事 業 総 収 益 ①	1,343,565
	事 業 総 費 用 ②	1,124,141
	事 業 総 利 益 ③=①-②	219,424
事 業 管 理 費 ④		160,455
事 業 利 益 ⑤=③-④		58,969
事 業 外 損 益	事 業 外 収 益 ⑥	3,711
	事 業 外 費 用 ⑦	1,573
	事 業 外 損 益 ⑧=⑥-⑦	2,138
経 常 利 益 ⑨=⑤+⑧		61,107
特 別 損 益	特 別 利 益 ⑩	134,312
	特 別 損 失 ⑪	127,249
	特 別 損 益 ⑫=⑩-⑪	7,063
税 引 前 当 期 純 利 益 ⑬=⑨+⑫		68,170
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税 ⑭		16,291
当 期 剰 余 金 ⑮=⑬-⑭		51,879
前 期 繰 越 剰 余 金 ⑯		36,278
再 造 林 積 立 金 取 崩 額 ⑰		284
当 期 未 処 分 剰 余 金 ⑱=⑮+⑯+⑰		88,441

令和7年度部門別実績 (千円)

部 門	金 額
加工	618,315
森林整備	344,782
販売	306,708
利用	36,349
購買	35,153
指導	2,181
金融	77
計	1,343,565

令和7年度森林整備等の状況

区 分	数 量
森林経営計画の作成状況	18,779 ha
施業集約実施面積	386 ha
搬出材積	71,229 m <sup>3</sup>
新植	69 ha
保育	241 ha
除間伐	35 ha
搬出間伐	434 ha
皆伐	60 ha
森林作業道	34,765 m
林業専用道	1,145 m

(小数点以下切捨て)

令和7年度剰余金処分子案

(千円未満切り捨て)

科 目	小 計	合 計
当 期 未 処 分 剰 余 金		88,441
剰 余 金 処 分 額		47,325
法 定 準 備 金	11,000	
再 造 林 積 立 金	1,500	
別 途 積 立 金	30,000	
出 資 配 当	4,825	
次 期 繰 越 剰 余 金		41,115



## 《令和8年度事業計画》

### 総括

■環境の森づくり・循環の森づくり・森林の人材づくり・森林の価値づくりを通じた組合員サービスの向上

■組合員の為の森林組合である事を再確認し、役職員一丸となった計画的な組合運営

■急変動する国内外の経済動向を注視し、行政及び関連企業と連携した地域の森林・林業・木材産業の振興発展

### 指導部門

■林業従事者の人材確保を図るとともに、林業アカデミーへの支援及び緑の雇用制度を利用した人材育成

■再造林に必要な苗木の安定供給を図るため、株式会社ウッドカンパニーニチナンと連携した苗木生産事業の推進

■再生可能な森林資源の多様な価値化を検討し、森林情報の共有化や組合員との双向連絡体制のプラットフォームづくり

■森林施業の効率化と適切な森林管理を図るための森林の集積・集約化実証事業

■組合情報誌・ホームページ、SNSなどによる情報発信

### 販売部門

■株式会社オロチ及び関連企業との連携による木材の安定供給・販売網の拡充

■日南町木材生産事業協同組合との連携による高性能林業機械の導入等、木材生産体制の充実・強化を図り、木材生産量の増加及び安全な施業体制づくり

■県森連を中心として全県下で取り組む川上から川下までの物流データのデジタル化による情報共有と業務の効率化

### 森林整備部門

■森林経営計画をベースとする間伐・皆伐再造林の施業地の集約化と立木買い取り

■必要に応じた林業専用道・森林作業道の開設による木材生産システムの効率化

■各種造林補助事業等を活用した新植・保育・除間伐等の森林整備施業の推進

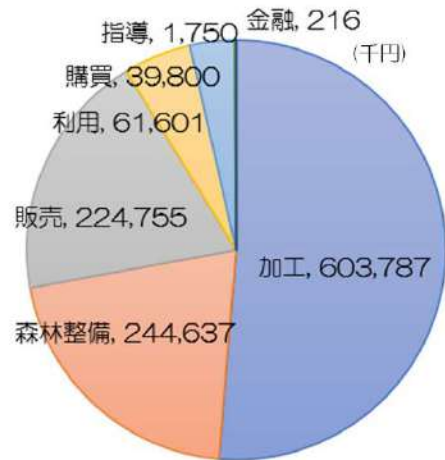
■日南町や森林整備センター等公共造林の森林整備事業の実施

■林業機械及び林業資材の斡旋、地域に適した優良苗木の斡旋

■ドローン活用による森林施業の省力化

■花粉の少ない森林への転換促進対策において需要の高まるカラマツの特定母樹による採種園整備事業の実施

令和8年度 事業計画  
事業別収益 (11億7,654万円)



令和8年度損益計画

(千円)

科 目		金 額
事業総利益	事業総収益 ①	1,176,546
	事業総費用 ②	999,918
	事業総利益 ③=①-②	176,628
事業管理費 ④	166,718	
事業利益 ⑤=③-④	9,910	
事業外損益	事業外収益 ⑥	1,300
	事業外費用 ⑦	1,550
	事業外損益 ⑧=⑥-⑦	△ 250
経常利益 ⑨=⑤+⑧	9,660	
税引前当期純利益 ⑩	9,660	
法人税、住民税及び事業税 ⑪	1,950	
当期剰余金 ⑫=⑩-⑪	7,710	
前期繰越剰余金 ⑬	41,115	
当期末処分剰余金 ⑭=⑫+⑬	48,825	



第63回通常総代会 (於：日南町総合文化センター)

## 航空レーザ計測データの有効活用による



# 森林の集積・集約化実証事業

### 日南町森林集約化対策協議会の設立

林野庁の「森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策」に位置付けられる「森林の集積・集約化実証事業」とは、森林の集積・集約化を加速させるため、地域の林業経営体、市町村、森林所有者等の協議によって、地域の森林集約化構想に基づく森林の経営管理の集約化を行う取組みに対して、その経費を支援し、集約化モデルを創出していくという事業です。

前号(vol.166)でもお伝えしたとおり、今年3月、令和7年度補正予算事業として採択となり、日南町森林組合、日南町木材生産事業協同組合、日南町自治協議会、日南町、鳥取県、鳥取県森林管理経営支援センター、鳥取森林管理署などからなる日南町森林集約化対策協議会（会長：木村美次次代表理事組合長）を設立しました。



日南町森林集約化対策協議会の設立総会

### 委託事業者の選考

協議会では、当該事業の実施にあたっては、専門性に基づく企画提案力があり、確実な調査分析の実施が見込める者に委託することが適当であると考え、公募型プロポーザルによって委託業者を決定することにしました。

その後、4社より企画提案書の提出があり、4月22日(水)にプレゼンテーション（企画提案書の説明会）を実施、厳正なる審査の結果、西谷技術コンサルタント株式会社（本社：鳥取県倉吉市八屋354番地1）を委託業者として選定しました。

### モデル地区の選定と事業の進め方

森林の集積・集約化実証事業は、森林境界を外縁のみ明確化し、森林所有者のみなさんが合意された森林境界保全図に基づき、将来の施業実施時に収益を分配し、施業が停滞している森林も対象に森林の面的な集約化（目標：1,000ha）を図るというものです。

モデル地区の選定に際しては、地籍調査が未了で、事業実施を希望される地区において、次のとおり、より確実な集約化を進めていきたいと考えています。

#### [第一段階]

○委託業者（西谷技術コンサルタント）は、日南町森林集約化対策協議会が提供する集約化対象森林をベースとする森林境界推測素図を作成する。（その作成にあたり、委託業者は、地元関係者からの聞き取りや現地への立ち入り調査を実施する。）

#### [第二段階]

○委託業者は、日南町森林集約化対策協議会とともに地元説明会に参加し、地元関係者の意見を参考にしながら、森林境界推測素図の完成度を高める。

○修正した森林境界推測素図を開示するとともに、委託業者は、必要に応じた現地調査を実施し、現地調査図を作成する。

#### [第三段階]

○修正した森林境界推測素図を、所有者、その他の利害関係人またはその代理人の確認を経て、森林境界推測図を作成し、外縁境界を確定。併せて、「筆界」と「森林境界」の両視点で、将来の地籍調査を想定した内縁境界の推測も行う。

協議会では、5月から、委託業者とともに町内まち協に出向き、事業説明会を開催し、事業実施地区を選定しています。



福栄地域振興センターでの事業説明会

## スパイダーお披露目会

### 1. スパイダーお披露目会

国、県及び町に予算要望し、導入が決定した4輪多関節型作業機械ハーベスタ（通称：スパイダー/スイス メンツィムック社製）が、海を越えてついに到着、3月27日（金）、役場交流ホールと玄関正面駐車場において、鳥取県知事の平井伸治氏、日南町長の中村英明氏、鳥取森林管理署長の寺岡猛氏らをご来賓にお迎えし、お披露目会を開催しました。

### 2. 森林組合による購入は全国初

式典は、県内外の林業関係者ら約100人のみなさんにもご出席いただき、盛大に開催することができました。

木村組合長は「新たな木材生産システムの構築に挑戦する」とスパイダー導入の決意を語り、平井伸治県知事からは「生産性の高い新しい林業を実現してほしい」と、中村英明町長からは「この日南町から未来の林業を発信してほしい」との激励をいただきました。

ヨーロッパでは約9千台が実装されているスパイダーですが、日本国内ではちょうど20台目、中国地方では初導入で、森林組合の導入は全国初とのこと。スパイダーの操作盤には、スイッチ類がズラリと並び、その操作に慣れるのに時間はかかりそうですが、「安全で効率的な林業と生産性の向上」を目指します。

### 3. 斜面登坂能力を活かして

スパイダーを納品していただいた(株)サナーズの阿部智代表取締役社長（現会長）からは「当機は、四輪駆動のタイヤを備えた4本の脚をそれぞれ独立して動かす多関節構造になっており、地形に応じて姿勢を調整することで、従来の林業機械では入りにくかった急傾斜地などでの作業が可能になります。こうした構造のため、当機は、斜面登坂能力が傾斜勾配角度45度（ウインチを装着した場合は65度までの斜面に対応）と非常に優れており、かつ複数の作業（伐採・造材・集材）を行えることから、傾斜地においても高密度路網を必要とせず、災害リスクを避けた少数での皆伐施業が可能になります。また、キャビン下部まで水に浸かっても作業可能な優れた防水性も備えており、土砂災害、



「新たな林業への挑戦」と木村組合長



「生産性の高い林業を」と平井知事



サナーズからレプリカキーの贈呈



スパイダー除幕式



スパイダーのお披露目です

河川災害など、緊急を要する現場での活躍にもご期待ください」とスパイダーの特徴をご説明いただきました。

#### 4. スパイダーによる施業計画

町内の現場では、通常、路網密度300m/ha程度で作業路を作設し、伐採搬出していますが、同機機で施業した場合、100m/ha程度で伐採が可能になると見込んでいます。作業路の作設期間と経費を格段に抑制することができるだけでなく、当機（伐採、造材、集材）とフォワーダ（運材）の2台での作業体制を構築することで、少数での効率的な作業が可能となり、生産性も大きく向上すると考えています。

また、林齢が、10～12齢級（50～60年生）が突出する町内の人工林にあって、皆伐施業を望まれる組合員のみなさんの声は少なくありません。昨年5月から、林産班を1班体制から2班体制にして施業分散による業務の効率化を図っており、第1班は、ハーベスタによる従来型の間伐施業を担当、第2班には、自走による伐採・造材・集材作業が可能なのこのスパイダーを配備し、生産性の向上を図ります。

#### 5. 林業機械の切り札として

スパイダーの導入事業費は1億4800万で、林業・木材産業成長対策交付金（林野庁）、林業再生事業補助金（鳥取県）、林業機械整備支援補助金（日南町）の助成を受け、導入することができました。スパイダーのベースマシンにコンラード社（オーストリア）のハーベスタヘッドWOODYを搭載しており、直径55センチまでの立木の伐採、枝払いと玉切りが可能です。最高時速は14<sup>km/h</sup>、4輪の幅が2.3mから6.9mで可変し、後輪が最大2.3mまであがることで、急傾斜地での安定した作業を可能にしています。

職員は、機動性・作業効率性に優れた「4輪多関節型作業機械スパイダー」の国内普及を目的とする一般社団法人日本スパイダー協会（徳島市）によるオペレータ研修に参加、運転・操作技術の習得に努めています。生産性の向上を図るには、もう少し時間がかかりそうですが、町内の施業地で慣れない操作パネルに悪戦苦闘しながらも、林産業務に励んでいます。

急傾斜地を自走する画期的な機能を有しているスパイダーは、ほとんどの施行地が傾斜地である国内林業において、今後の林業機械の切り札として期待されています。



右から、川上富夫県森林組合連合会会長、寺岡猛鳥取森林管理署長、平井伸治鳥取県知事、木村実次代表理事組合長、内田博長県議会議員、中村英明日南町長、近藤宏日野町長、山本芳昭日南町議会議員、阿部智サナース代表取締役社長



平井知事も興味津々です



二輪でバランスをとるスパイダー



急斜面での施業を想定したデモンストレーション



スパイダーによる枝払い

## ■ 活動報告 Activity report

3/17 林業アカデミー卒業・入学式  
4/13



3月17日、町立林業アカデミーの第7期生8名の卒業証書授与式が行なわれ、組合長が、「就職するそれぞれの地で、林業振興の一翼を担ってほしい」とエールを贈りました。卒業生8名の内、3名が町内の林業事業体に就職されます。

また、4月13日には、オープン間もない日南町農林MIRAIセンターで第8期生(林業専修科5名、林業研修科3名)の入学式が挙行されました。現在、組合では、林産班の拡充を計画しており、時機を捉えた求人情報の発信に努め、人材の確保を図りたいと考えています。



令和8年度林業アカデミー入学式

5/13 J-クレジット販売契約



この日、(有)前田石油店(前田浩史代表)とJ-クレジット5tの販売契約を締結、同社は9年連続のご購入となりました。

また、お知らせが遅くなりましたが、3月17日には、住友林業(株)が運営する森林価値創造プラットフォーム(森かち)に10t、3月24日には、(株)山陰合同銀行に70tのJ-クレジットをご購入いただきました。

これらクレジットの売上金は、SDGsの基本理念でもある環境の森林づくりの経費として有効に利用しています。こうしたみなさんの善意が、日南の森を育てています。



購入契約証を手に前田代表

5/15 日野高デュアルシステム



日野高版デュアルシステムとは、生徒の主体的な職業選択の能力と職業意識を育むことを目的に、学校での座学と事業所での実習を組み合わせた日野高の教育システムです。

この日は、アグリライフ系列「森林応用」を選択している3年生の7名に、林業講話、樹木育苗センターと木材団地の視察研修という実習を通じ、林産業への理解を深めてもらいました。

遠くない進路決定に向かって、林業や林業関連産業がその選択肢のひとつになることを願っています。



右端は中海テレビの取材クルー

5/15 アカデミー学生の現場見学



林業に対する理解を深めることを目的とする「林業入門」の講義の一環として、林業アカデミーの令和7年度入学生に、造林班による菅沢地内の地拵えの作業現場を見学していただきました。

現場見学に先立ち、町の林業の現状を組合長が説明、生徒のみなさんはメモをとりながら、熱心に耳を傾けておられました。今年は、当組合の奨学資金制度の利用者もあり、3人が町内での就業を希望しておられるようです。一人でも多く、町内の林業事業体に就職してもらえたらと思っています。



組合長による「林業講話」

## 5/15 スマート林業の推進

林業における労働安全の確保や労働負荷の軽減、労働生産性の向上に向けた新技術の現場導入を加速するため、地上レーザーシステムやドローン導入などによるスマート林業の構築に努めています。

この日、出雲市で開催されたドローンの研修会（主催：島根ドローンサービスセンター）に職員4名が参加し、最新機による実演を見学しました。実用段階に至っているスマート林業技術の安全性を確保し、苗木運搬や忌避剤散布など、将来を踏まえた「スマート林業技術」の習得に努めます。



ドローン操作の実演

## 5/22 木材団地周辺の道路清掃

日南町木材生産事業協同組合と木材団地事業所社員、林業アカデミーの学生ら総勢51名で団地周辺の道路清掃作業を行いました。小雨の中、約1時間ほどの作業でしたが、町の有料指定袋に換算すると、約4袋相当の空き缶、空き瓶、ペットボトルなどを回収しました。

ごみのポイ捨ては、法律で禁止されている犯罪行為で、景観を損ねるだけでなく、自然環境の破壊、衛生悪化など、私たちの生活にも多大な悪影響を及ぼします。住みやすい町にするため、皆様のご協力をお願いします。



雨中での作業お疲れ様でした

## 5/26 スギ林の成長モデルの研究

大林組技術研究所は、京都大学農学研究科森林水文学研究室と共同し、本町において、「スギ林の成長モデルの研究」を一昨年からはじめられています。

現在、町内のスギ林において、森林三次元計測システム（地上型レーザー）で胸高直径や樹高を測定、得ることができる材積データなどを基に、スギ林の長期的な成長モデルの作成に取り組まれています。

高層木造建築の分野で業界をリードする大林組から森林と向き合う方法を学び、町の循環型林業の具現化に努めます。



出立山（湯河）での調査の様子

## 5/26 木材生産事業協同組合総会

平成19年に完成にした「日野川の森林木材団地」に(株)米子木材市場生山支店と山陰丸和林業(株)生山事業所が移転、翌年の(株)オロチの工場完成に併せ、町内の素材生産業者23社によって日南町木材生産事業協同組合は設立されました。

現在の加盟事業者は19社、代表理事は(株)ニシムラの西村雅文氏（三栄）、木材団地には年間約12万㎡の木材が集積されており、鳥取県内の流通量の約1/3に相当します。この供給体制の根幹を担っているのが、日南町木材生産事業協同組合です。



日南町木材生産事業協同組合通常総会

## 産材業用オイル、副資材不足がじわじわと

中東情勢の悪化に起因するホルムズ海峡での物流停滞により、石油の基礎原料であるナフサ（粗製ガソリン）が不足しています。これにより、自動車用のエンジンオイルやチェーンオイル、ギヤオイルといった産業用オイルの品薄や価格高騰が続いています。また、ナフサの不足は、住宅建築に使う断熱材や屋根の防水シート、ユニットバス、各種の塗装に使うシンナーや接着剤、溶剤、医療現場には欠かせない手袋などが大幅な値上げだけでなく、調達もままならない状況になりつつあります。



原油輸入量の約94%をホルムズ海峡経由に頼るわが国は、今回のエネルギー危機において、世界で最も脆弱な国のひとつです。政府は、中東以外からの調達拡大（代替調達）を進めていますが、流通・小売りの現場では、警戒感が広がっています。

組合としても上部組織や関連機関と連携し、県や国に対し、ナフサ関連製品の安定供給体制の構築を強く要望しています。現時点では、町内の林業現場が止まることがないように、政府の備蓄放出や代替調達が順調に進展していくことを願うばかりです。

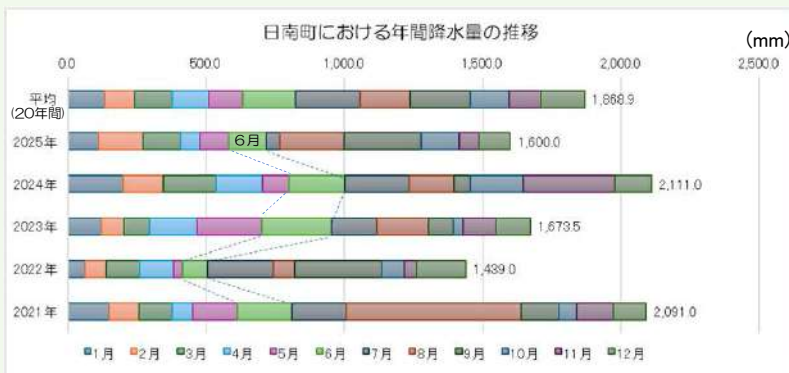
## 令和7年度原木取扱量と日南町の降水量

木材団地の木材集積場における原木取扱量は、右図のとおり、対前年度 7.3%の増量となりました。これは、4～5月が好天に恵まれたこと、9～11月に台風が襲来されることなく、安定した施業ができたことが大きな要因と考えられます。

日南町（アメダス茶屋）における年間降水量が、対前年度比約500mmの減であったことが、これを裏付けています。ただ、これは、約3ヶ月分の降水量に相当します。異常気象なのか、常態化の前触れなのか懸念されるところです。

下図は、気象庁が公表しているアメダス茶屋における年間降水量です。過去20年間の平均降水量は1,868.9mmですが、2022年は1,439.0mm、2023年は1,673.5mm、2025年は1,600mmと平均降水量以下となっています。稲作には1,000～1,500mm以上の降水量が安定的に必要と言われているので、これ以上の降水量の減少は、生育障害や品質低下など農業経営を脅かす要因になりかねません。

こうした中、見直されているのが、森林土壌における水資源の貯留機能です。森林土壌の



貯留機能は草地の2倍、裸地の3倍とも言われており、晴天が続いても溪流の水が枯れないのは、こうした森林土壌の貯留機能によるものです。世界的に見ると、水資源に恵まれている日本ですが、それは、かんがい農業を考え、森林を保全していくことで、干ばつの影響を緩和する術を今に伝えた先人たちのお陰だと考えます。

## ■ 日南町の林業を支える人 🌲🌲🌲 interview



あおきりゅういち  
 (株)ニシムラ(三栄) 青木 龍一さん

Q1. 林業の仕事歴は？

林業アカデミーを卒業して、入社1年目です。

Q2. この仕事に入ったきっかけは？

山や海が大好きで、その近くで暮らしたいと思うようになり、日南町には林業が仕事としてあったからです。

Q3. 仕事の内容は？

林産です。休みの日に、少しでも米づくりのお手伝いもしています。

Q4. 難しいと思うところは？

重機の操作や伐倒作業など、技術的にはまだまだです。また良い山や木を育てていくにはどうすればいいか、木材を高く売るにはどうするべきかなど、学ぶことだらけです。

Q5. 林業の仕事についてよかったと思うところは？

とてもいい人たちにたくさん出会うことができました。

Q6. 今後の目標は？

怪我なく健康で、しっかり一人前の仕事ができるようになりたいです。

Q7. 熱中していることや趣味は？

山登り、クライミング、ヨットなど、外にいることが多いです。

Q8. 最後にひとこと

アカデミー在学中から多くの方にお世話になりました。改めまして、よろしくお祈いします。

今月の表紙写真にご登場いただいた青木龍一さんです。取材へのご協力、ありがとうございました。

### 理事会・監査会開催報告（協議事項等）

令和7年度第7回理事会 (令和8年3月13日)

《協議事項》

- ・ 令和8年度各種手数料の決定について
- ・ 第63回通常総代会開催日について
- ・ 固定資産の取得について
- ・ 年度末賞与について
- ・ 昇給について
- ・ その他

令和7年度決算監査 (令和8年5月13日)

《監査事項》

- ・ 第63事業年度の業務及び財産の状況
- ・ 会計帳簿及びこれに関する資料調査
- ・ 重要な決済書類

令和8年度第1回理事会 (令和8年5月20日)

《協議事項》

- ・ 第63回通常総代会について
- ・ 監事監査の指摘事項等に対する回答について
- ・ 利益相反契約について
- ・ 固定資産の取得について
- ・ 分収造林変更契約の締結について
- ・ その他

令和8年度第2回理事会 (令和8年6月12日)

《協議事項》

- ・ 役員報酬額の決定並びに役員報酬の支払方法について
- ・ 鳥取県森林組合連合会の監査報告書の回答について
- ・ 組合員の脱退について
- ・ 職員夏季賞与支給について
- ・ 日南町森林組合役員研修について

# お知らせ information

## 新入職員の紹介



にちなん中国山地林業アカデミーを3月に卒業し、4月から造林班で働いています。

先輩方から様々なノウハウを学び、安全に丁寧に作業し、しっかりと仕事を覚えて成長していきたいと思えます。

町の林業発展の貢献できるよう努めます。どうぞよろしくお願ひします。

造林班 青木ふみか



4月から森林管理課でお世話になっています。今まで、林業について何も知らなかったのですが、先輩方から仕事を教わり、少しずつでも成長できるよう頑張ります。

日南町の森林の資源としての木材生産だけでなく、森林の有する水源の涵養、地球温暖化の防止といった公益的・多面的機能の保全にも貢献できれば嬉しいです。よろしくお願ひします。

主事補 上村 幸誠

## 【購買情報】万が一の備えに！「クマよけスプレー」取扱開始

皆さまのご要望にお応えして、手軽に携帯できる「クマよけスプレー」(5,500円/税込)の取扱いを始めました。

重さは85gと軽量で、噴射距離約4~5m、噴射持続時間約15秒、主成分に唐辛子(微生物分解性)を使用しているため、環境にも優しい製品です。強い効果と即効性で、山林作業や農作業、山菜・茸採り時の安心をサポートします。

実物の確認や詳しいご説明をご希望の方は、森林組合までお問い合わせください。(担当：毛利)



組合員数 (令和8年5月末現在)  
正組合員数 1,459名  
准組合員数 6名

《ご相談窓口》  
TEL 0120-988-928  
(フリーダイヤル)  
受付時間/9:00~17:00  
(土日・祝日除く)  
山についての相談は  
こちらにお電話を！

### 編集後記

4月22日、岩手県大槌町で発生した山林火災は、鎮圧まで11日を要し、焼損面積は1633haで、町面積の約8%にも上った。平成23年3月に発生した東日本大震災では、高さ10mを超える津波に襲われ、市街地は壊滅し、1,286名が尊い命を落とされた。あれから15年、海に不安を見つめつつ、山側に家を新築された方もあったと聞く。今回の山林火災が、もし天災であるならば、未曾有の震災から復興してきた町に災いを重ねる天に「慈悲はないのか！」と問うてみたい。

### 発行元

日南町森林組合

〒689-5211

鳥取県日野郡日南町生山4 2 3 - 2

TEL 0859-82-0130 FAX 0859-82-0321

E-mail info@n-forest.jp.net

HP http://n-forest.jp.net

ホームページ



Facebook



Instagram

